

パブリックコメント実施結果報告書

1. 計画書名：第1期宮若市こども計画（案）
2. 意見の募集期間：令和7年11月27日（木）から令和7年12月26日（金）までの30日間
3. 意見の公表場所：宮若市役所本庁多目的ホール、若宮コミュニティセンター「ハートフル」、宮若市生涯学習センター「宮若リコリス」
宮若市公式ホームページ

4. 意見の提出件数：20件（10名）

5. 意見の内容と市の考え方

※対応区分：〔A〕原案に修正を加え反映させたもの…4件

〔B〕修正はしないが、何らかの方法で反映している、あるいはさせるもの（原案にすでに盛り込まれているもの、原案の考え方や姿勢に合致し、今後の具体的な取組を実行していく中で反映していくもの）…3件

〔C〕今後の参考にさせていただくもの…10件

〔D〕その他…1件

No.	ページ	行	素案の項目	意見の概要	※対応区分	市の考え方
1	40	3	こどもが持つ権利の保障	※印不要なのは。	A	修正しました。 ※条約締約国 → 条約締約国
2	42	13.14	こどもの権利に対する取り組み	「県民」という表現より「市民」とした方が適切なのでは。	A	修正しました。 「県民」→「市民」
3	43	7	こども施策に対するこどもの意見反映	40ページに「こどもが意見を表明する機会を確保し、その意見を尊重することが必要」と記載されており、その施策が【具体的な施策・事業】の4に示されていますが、具体性が不十分だと思います。	A	意見を反映しました。 「ホームページ等を活用し」→「ホームページにアンケート方式で意見を収集し」
4				宮若市HPで子育てに関する情報を得るのに手間がかかる。子育てに関する情報だけをまとめて閲覧できるホームページを作成して欲しい。	B	当計画の概要版を作成し今年4～5月を目途に全戸配布するとともに、HPについても子育てに関する情報に特化したホームページの作成を検討します。

5	52	24	幼児教育・保育の環境整備	第2子以降児童の保育料無償化とあるが、第1子目から無償化にして欲しい。	C	本市の財政状況では困難な課題ではあるが、子育てのしやすいまちづくりに向けて、第1子目からの保育料無償化を含め、様々な新たな施策を検討します。
6	74	1	居場所づくりの推進	直方中央公園や飯塚市の筑豊緑地、宗像ユリックスのような広くて大きな遊具の充実した公園を作って欲しい。	C	本市には西鞍の丘総合運動公園、2000年公園、光陵グリーンパーク等の公園があるが、ご指摘のとおり遊具が充実した公園はなく、今後の遊び場、居場所づくりの参考にさせていただきます。
7	87	14	経済的支援	子ども医療費を高校生まで完全無償化してほしい。	C	本市の財政状況では困難な課題ではあるが、子育てのしやすいまちづくりに向けて、様々な新たな経済的支援施策について検討します。
8				内容が多すぎてわかりづらい。子育て家庭に必要な情報だけをもう少しわかりやすく整理してまとめて欲しい。	B	本計画の概要版を作成して、本年4月から5月にかけて全戸配布を予定しておりますので、編集の際に子育て家庭に必要な情報をまとめて掲載する予定としております。
9	52	24	幼児教育・保育の環境整備	幼児教育・保育の環境整備について、第2子以降の保育料の無償化とありますが、多子世帯だけではなく、子どもがいるすべての家庭の負担軽減のため、保育料の完全無償化を実施するように検討してほしい。	C	本市の財政状況では困難な課題ではあるが、子育てのしやすいまちづくりに向けて、第1子目からの保育料無償化を含め、様々な新たな施策を検討します。
10	75	8	居場所づくりの推進	近年、こどもの居場所づくりと貧困対策として、こども食堂を実施しているボランティア団体が多くなってきていて、こども食堂も大変多くの子ども達が利用していることと思います。 こども食堂を継続して運営していくことは、資金の面でかなり厳しいところがあると思いますので、市からボランティア団体に補助金を出すなどして支援をしていただきたいと思います。	A	現在、本市では「こども食堂」を運営している団体に月5千円の運営資金を補助金として交付すると共に、新たに「こども食堂」を始める団体に対し準備資金として10万円を交付しておりますので、この具体的事業内容を追記します。
11	44.97		妊婦前からの出産に向けた支援 次代の親の育成	妊娠・出産の身体的なことだけでなく、その後の育児をともなう生活の変化や金銭負担等の変な大変なこと、育児の良さや楽しさ等を具体的に、児童や若い世代に知らせてもらえたら良いと思います。	B	妊娠・出産により日常生活において様々な変化が起こることは、次代の親世代にとっては不安な面もあることから、本市で子育てする上で少しでも不安が解消されるような支援情報の発信をあらゆる機会を通じて行うように努めたいと考えております。

12	59.73		男女共同参画社会の推進	「男だから～」「女だから～」といった大人の差別的言動、悪い事例、役割の押し付けや価値観の強要等を基に、教育啓発をお願いしたいです。 悪い例：子どもを3人産んで1人前、意思決定の場に女性はいらない、男児には剣道・女児には茶道等の決めつけ（本人が選択できる方が良い）、力仕事は男性・家事育児は女性の仕事。	C	「男女共同参画社会の推進」担当部署において、様々な機会を通してより一層の啓発活動を実施していくこととします。
13				宮若西小学校区にはスクールバスがありますが、北小学校にはスクールバスがなく、民間のバスで登下校しなければいけません。市はバス通学をする小学生の子どもがいる世帯に補助金等の交付ありません。不公平ではないでしょうか？ なぜ1台も出せないのでしょうか？中学校もかなり遠いののにバスの補助がないのはどうなのでしょう？ このような不公平なことをする市に若い人に来て欲しいとは思えません。	D	宮若西小学校の校区において旧若宮小学校校区内の児童は基本スクールバス対象外となっており、南小、光陵小学校区においてもスクールバスの運行はおこなっておらず、現状として各校におけるスクールバスの運行拡大及び補助金等の交付予定はありませんので、ご理解のほどお願いします。
14				【教育のプレミアム化（中核都市との差別化）】 公立校へのSTEAM教育導入・ネイティブ講師の配置：塾に頼らずとも質の高い教育が受けられる環境を整え、「教育の街」としてのブランドを確立する。 市提携の「習い事ポイント」：市内の民間習い事と提携し、利用できるクーポン券を発行。子供の体験格差を埋める。	C	教育委員会において、検討させていただきます。
15				【家事・育児の物理的負担軽減】 おむつサブスク・ベビーシッター利用補助：突発的な育児負担を軽減し、共働き世帯が働きやすい環境を構築する。	C	こども家庭課において、検討させていただきます。
16				【遊休資産（廃園・廃校）の有効活用】 「例」木のおもちゃ館（知育ひろば）」への転用：放置されている廃園を活用。木育（もくいく）をテーマにした質の高い屋内遊び場を整備する。 「廃校×民間活用」の加速：運営を民間に委託することで、行政の運営コストを抑えつつ、習い事やSTEAM教育の拠点として活用する。中核都市のような大規模なハコモノ整備は難しくとも、市内の遊び場不足を解消。	C	本市にある既存の廃園・廃校施設は、老朽化が著しく利活用するのが困難な施設となっておりますが、他の公共施設における今後の利活用方法の一案として、関係各課で検討材料とさせていただきます。

17			【行政 DX の推進と地域貢献の可視化】 市専用アプリの構築：申請のスマホ完結、遊び場の予約、地域貢献（ボランティア等）の実績管理を一元化。 「シビック・プライド手当」の創設：年 1 回以上の地域貢献活動（イベント手伝いや専門スキルの提供）を行った世帯に対し、アプリを通じて月 1 万円相当のポイントや減免措置を行う。	C	関係各課において、検討させていただきます。
18			【「田舎ならではの」を価値に変える自然体験型教育】 勉強だけでは、勉強苦手な子たちが埋もれてしまうため非認知能力を高める施策。 単なるレジャーではなく、農林業体験や里山での探究学習を授業や放課後活動に組み込む。 「最先端の知能（IT）」と「本物の経験（自然）」を両立できる環境を本市の最大の強みとする。 →「遊び場がない」という課題を、既存資産（廃園）の有効活用で解決し、マウント合戦に陥らない「多様な価値を認め合う地域社会」を構築することで、本市を「選ばれる街」へと変革することを切望します。	C	関係各課において、検討させていただきます。様々な本市のまちづくりに係るアイデア、子育て環境の充実に向けたアイデアを出していただき感謝申し上げます。
19			「柔道」又は「剣道」の何らかの武道を小中学校の 9 年間の授業で教える。武道の稽古により心身の鍛錬を行い、人格形成に期す。道徳心を高め、礼節の尊さを武道から学ぶ。	D	
20			日本国建国の歴史（日本書紀）を授業で教える。自分の役割を自覚させ、日本国民として父母に孝行を尽くし、兄弟姉妹仲良くして、夫婦互いに睦み合い、朋友互いに真義を持って交わり、恭しく慎み深く振舞い徳のある人物となり、公共の利益を広め勤めを果たす。 このような教育を実践する。	D	